

暮らしの コーディネート ～第24回

今月のKEYWORD

『5R(ファイブアール)』

従来のReduce(リデュース=削減)、Reuse(リユース=再利用)、Recycle(リサイクル=再利用)の「3R」に、Repair(リペア=修理)、Refuse(リフューズ=拒否)を加えた、地球へのやさしさを行動で示す5つのアクションです。日頃のちょっとした意識や心掛けで取組めるものばかり。SDGs12番目の目標「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」にもつながります。



SDGs目標の12番目に「つくる責任、つかう責任(持続可能な消費と生産を構築する)」という項目があります。掲げられた背景には世界中の環境問題が関わっていて、日本国内でも自治体や企業がさまざまな取組みを行っています。

「5R」を 実践する暮らし

す。つかう側の責任とは何か。一番には食品ロスなどのゴミ問題が挙げられ、環境保全活動の「5R」は目標達成のために役立つ行動です。

近年では、マイバツクの持参やフリマサイトの活用など、個人レベルでの工夫も広まってきました。しかし、単にゴミを減らして地球環境を改善するだけでなく、日々の暮らしに「愛着」を持ち、お気に入りのモノに囲まれて暮らす、自分の生活を心地よくする工夫も、環境問題への大切な取組みになるのではないのでしょうか。

素材選びで キレイを長持ち

例えば、長く住み継ぐために愛着

のあるわが家をリフォームして住み続けることは、SDGs貢献にもつながります。「5R」に置き換えてみると、「リユース」なら自然素材の採用もしくはリサイクル素材などの活用が挙げられます。また「リペア」は家具などのリメイクを楽しむことで実現させることができます。

パナソニックのクリーンプロダクトのように、耐傷・耐汚染性能に優れた床材や建具は傷や汚れに強いので、キレイで長持ちする住まいづくりに貢献してくれます。今後リフォームをお考えの際は、ぜひ5Rを意識してみてください。

長く楽しめめる愛着のある住まい